

広報く に み

KUNIMI

2

2024

No. 607



Cover

今月の表紙は、はたちの成人のつどいです。

色鮮やかな振袖や袴、真新しいスーツに身を包んだ二十歳の成人たち。

東日本大震災や2度の大きな地震、新型感染症など、いくつもの試練を乗り越えた皆さんならこの先、どんな困難も乗り越えられるはず。

皆さんの未来が明るく希望に満ちたものとなりますように――

Contents

02 … はたちの成人のつどい

04 … 申告相談会のお知らせ

06 … 能登半島地震の被災地へ職員派遣

10 … まちのわだい

16 … まちの情報ボックス ほか



1. 若さあふれる笑顔でハイチーズ！2. 久しぶりの再会に笑顔3_今日の思い出に一枚4. 懐かしい友人を見つけて5_御礼のことばを述べる齋藤優衣さん6_記念撮影には笑顔があふれました7_式典後はDJ（赤坂佑太さん）が会場を盛り上げました8_フォトスポットには「くにみもたん」も登場9_当時のクラスで記念撮影10_はたちの成人証書を受け取る川見亜弥さん



令和6年はたちの成人のつどいが1月7日、観月台文化センターで開催されました。今年は87人が20歳の成人を迎え、華やかな振袖や袴、スーツに身を包んだ若者たちが会に臨みました。

はたちの成人のつどいでは、引地真町長が「自分自身を大切にし、自分らしく生きられる居場所を見つけてください。一人ひとりが幸せのカタチを見つけて出し、実現し、笑顔の日々が送られるよう願っています」とお祝いのことばを述べ、はたちの成人にエールを送りました。また、一人ひとりの名前が読み上げられた後、代表の川見亜弥さんへ引地真町長から、はたちの成人証書が手渡されました。

佐藤定男議長の来賓祝辞に続き、はたちの成人を代表して齋藤優衣さんが「これまでご指導いただいた先生方、成長を温かく見守ってくださった地域の皆さま、そして一番に愛情を注ぎ常に支えてくださった家族に心から感謝します。今日こうして、晴れ姿をお見せできたことはこの上ない喜びです」とお礼のことばを述べ、はたちの成人としての誓いを新たにしました。

会の終了後には、実行委員が企画した「歓談の時」が開催され、友人や恩師との久しぶりの再会を喜び合い、思ひ出話に花を咲かせました。参加者たちは、新しい時代を担う決意を胸に、大人への一歩を踏み出しました。

輝け、わたしたちの未来——

はたちの成人のつどい

R6.01.07 国見町 観月台文化センター



二十歳を迎えて

あなたはどんな大人になりたいですか——

熊坂 瑛郁さん

カッコいい大人になりたい。

実沢 真都さん

人に愛され、信頼されて困っている人がいたら助けられる大人になりたい。

佐藤 大斗さん

自立して仕事をきちんとして、親のような大人になりたい。

齋藤 優衣さん

誰にでも平等で優しく愛される大人になりたい。

菊地 里奈さん

自立した大人になりたい。

三木 向日葵さん

みんなに信頼されるような大人になりたい。

1 国見町の相談会場で申告相談

2 税務署が開設する申告相談会場『A O Z（アオウゼ）』での申告

- 会 場 アクティブシニアセンターA O Z（アオウゼ）大活動室
（福島市曾根田町1-18 MAX ふくしま4階）
- 期 間 2月16日（金）～3月15日（金）
（土・日・祝日を除く。ただし、2月25日（日）は開設）
- 時 間 午前9時15分～午後4時 ※午前9時開場
- ・申告書作成会場では、ご自身のスマホを使用して申告書を作成します。事前に設定した暗証番号をご確認ください。
- ・MAX ふくしまの駐車場は、駐車時間が2時間を超えると有料になります。
- ・会場入場には整理券が必要です。取得方法は①LINEアプリでのオンライン事前発行、②会場付近で当日券を受け取る方法があります。
- 福島税務署 ☎534-3121 ※確定申告に関する一般的な相談は『電話相談センター』でお答えしますので、音声案内に従い「1」番を選択してください。



【オンライン事前発行】

3 郵送・持参による提出（ご自身で作成された方）

- 提出先 福島税務署又は国見町税務課
- ・福島税務署へ持参提出する場合、玄関前に設置されている收受ポストへの投函も可能です。
- ・町申告相談会場への持参提出も可能です。その際、申告相談会への参加は不要です。

4 自宅のパソコンやスマートフォンで確定申告 おすすめ!!

- パソコン、スマートフォンなどから画面の案内に従って金額などを入力するだけで、申告書が作成できます。マイナポータル経由で「公的年金の源泉徴収票」や「医療費通知情報」など、データの自動入力機能が拡大され、ますます便利になっています。
- ・読み取り対応のスマートフォンであれば、マイナンバーカードの電子証明によるe-Tax（電子申告）が可能です。
- ・作成した申告書を印刷して郵送・持参することも可能です。
- ・国税庁HPでは、動画などで分かりやすく解説されています。

※詳しくは『確定申告』で検索か
こちらのQRコードから確認⇒



税理士による『確定申告および税の無料相談会』のお知らせ

東北税理士会福島支部主催による相談会が開催されます。確定申告（所得税）のほか、相続税・贈与税など税に関することについても相談が可能です。

【福島税務相談所】※面談相談のみ（完全予約制・相談時間30分）

- 日 時 2月14日（金）～3月8日（金）（土・日・祝日を除く）
午前10時～午後4時まで
- 会 場 東北税理士会福島支部（福島市森合町14番29号）
- 申込み ☎534-3907（平日の午前9時30分～午後4時30分、土・日・祝日を除く）

ご確認ください
マイナンバー

確定申告書にはマイナンバー（個人番号）の記載が必要です。
確定申告の際はマイナンバーカードを忘れずに持参してください。



マイナちゃん

確定申告 所得住民税の申告相談会が始まります

期 間 2月14日（金）～3月15日（金）（土・日・祝日・3/4を除く）※3月3日（日）は事前予約制で実施

【午前の部】午前9時から（受付：午前11時30分まで）

【午後の部】午後1時から（受付：午後4時30分まで）

会 場 観月台文化センター 3階 第1・第2研修室（受付場所は1階ロビー）

「確定申告のお知らせ（はがき）」又は町から送付された「所得申告相談について（案内はがき）」などの必要書類を持参し、期限内に申告してください。

詳細は1月中旬に各戸配布した「申告相談のお知らせ」を確認してください。

☎税務課 課税係 ☎585-2778 / 申告相談会場 ☎585-1083（申告相談期間中に限る）

税務署や町からの「案内はがき」又は「所得申告相談受付票」が届いていない場合でも、次に該当する方は申告が必要です。

- ①「農業、営業などの事業を営んでいる」「地代、家賃、配当などの所得がある」
- ②「給与収入が2千万円を超える」「給与のほかに所得がある」「2か所以上から給与をもらっている」「年末調整をしていない」
- ③「公共事業のために土地や建物を譲渡した」場合など

次の方は「簡易申告書」を提出してください。

- ・無収入の方や収入が遺族（障害）年金、雇用保険（失業給付金）のみの方は、申告相談を行うことなく町申告相談会場又は税務課（役場庁舎1階）に提出してください。（郵送も可）

※簡易申告書は税務課内に準備しています。また、町HPからもダウンロードできます。

申告が必要な方

申告相談に関するお願い

○混雑防止対策について

- ①相談時間短縮のため、事前に自宅などで書類（事業所得、医療費控除など）の作成をお願いします。また、パソコンやスマートフォンからでも申告書の作成が可能です。作成した申告書はデータでの提出（e-Tax）や印刷して郵送・持参することも可能です。詳細は税務署のホームページをご覧ください。
- ②来場者が集中することを防ぐため、町内会ごとに日程の割り振りをしています。
- ③1階ロビーに受付を設置します。順番となり次第、受付時にお渡しするベルでお呼びします。
- ④当日の受付状況により、受付人数を制限します。

実際の相談会における基本的な流れは次のとおりです。

- ①本人確認のため、身分証明書の提示をお願いします
例）マイナンバーカード、運転免許証等の顔写真付きのもの
- ②申告する収入内容についてお伺いします
事業収入（農業・営業・不動産）の方 ⇒ 収支内訳書、帳簿等
給与、年金収入の方 ⇒ 源泉徴収票
上記以外の収入 ⇒ 収入内容が分かる資料
- ③申告する所得控除についてお伺いします
例）生命保険料控除証明書、医療費控除の証明書、各種扶養等
- ④申告書の内容確認
上記②、③により申告内容を反映した申告書案を職員が作成します。内容に間違いがなければ提出をして申告は終了です。

申告相談会の流れ

スキフェス 2023 無事終了しました！

12月23日にスキフェス2023を開催しました。

イベント当日は、4つのブースに分かれて、町にあふれる「スキ」がまるっと、ぎゅっと詰まったプログラムをご用意。総勢250人の方々に来場していただき、子どもから大人まで本当にたくさんの方々に楽しんでいただけたイベントになりました。

このイベント開催に向けて、見晴るかすコースの7人の中学生が3か月ほど企画・準備を重ねてきました。

参加者からは、「イベント参加をとおして、たくさんの方から愛されている場所なんだと実感しました」「ここに集まる『スキ』がもっともっと町の中に広まっていったらいいなと感じました」など、とても温かいコメントをいただきました。

最後に、今回のイベントをとおして伝えたかったことは、大きく2つあります。

1つ目は、町の公営塾として、子どもたちの「スキ」という気持ちを後押しできる存在であり続けたいということ。

2つ目は、この町には「スキ」という気持ちをもとに、目の前にいる人や、町のことを大切に思い、行動してくれる素敵な人がたくさんいること。また、それを応援したり、協力してくれる人が身近にいることです。



これらをイベントに関わった全ての人に感じてもらえていたらうれしいです。

改めて、当日イベントにお越しいただいた方、また今回イベント開催にあたってご協力いただきました方に、感謝申し上げます。本当にありがとうございました。



放課後塾ハルは随時、新規入塾者を募集しています。
ぜひ、お気軽にご相談ください。

Email: houkagojuku.halu@gmail.com
TEL: [中学部] 080-7236-6232 / [小学部] 080-9151-6442
※ 12:30 ~ 21:30 土日祝日、年末年始を除く。

まちをデザインする——

国見版C I 検討を進めています

第5回目の国見版C I 検討委員会を1月19日に開催しました。

検討委員会では、前回提案したフレーズ（案）の「寄り町 STAY 国見町」に合わせたグラフィック（案）を事務局から提案し、委員の方と意見交換をしました。委員の皆さんからは、「町の現状は表現されているが、町の将来についても絵で表現することはできないのか」などの意見が出されました。

フレーズやグラフィックの素案に対する意見を募集しています。詳しくは町ホームページなどをご覧ください。

企画調整課過疎対策係 ☎ 585-2160



▲イメージグラフィック（案）

- 昔から変わらない阿津賀志山を望む風景を、道を中心に表現。阿津賀志山に向かって伸びる道の両側に桃、りんご、水田、道の駅、阿津賀志山防塁、中尊寺蓮を描いています。
- 作図にあたり、少年仲間づくり教室生に協力してもらい、ワークショップを実施。子どもたちの描いた町の「推し」を取り入れました。



▲近藤院長から激励を受ける4人

同日に行われた出発式では、近藤祐一郎院長が「4人の精鋭が派遣され、大変心強く感じている。これまでの訓練の成果を十分に発揮してください」と激励しました。派遣される医師の宇之澤さんは「東日本大震災の際には、日本から支援をいただいた。発災から約半月が経過し、被災者の皆さんはとも疲れています。これまでの恩返しとして、自分が持っている知識を活用して最大限のサポートをしたい」と話していました。

能登半島地震の発生から2週間あまりが経過し、被災者の健康状態の悪化が懸念される中、被災地の医療支援のため、公立藤田総合病院の医師ら4人が1月15日に石川県七尾市へ出発しました。
福島県の医師会などで行く災害医療チームJMAT（ジェイマット）福島県の第1陣として派遣されたのは、公立藤田総合病院から宇之澤和貴さん（医師）、金山稔さん（看護師）、齊藤由美子さん（看護師）、安齋光善さん（薬剤師）。4人は、能登半島地震で大きな被害を受けた石川県七尾市で、被災した病院や避難所での医療支援を18日まで行いました。



▲町が譲与した高規格救急自動車被災地へ出発するJMATの皆さん

13年前の恩返しを心に誓い——

能登半島地震の被災地へ向け、出発



▲出発のあいさつをする野村康宏さん

能登半島地震で大きな被害を受けた富山県氷見市で被災地支援を行うため、町の職員が1月25日に、現地へ向け出発しました。
富山県氷見市に派遣されたのは、野村康宏さん（住民防災課主任主査兼生活交通係長）と高橋直也さん（教育総務課主査）の2人で、出発日前日の1月24日、町役場庁舎のアカマツ広場で出発式が行われました。
出発式の中で、引地真町長は「今回の派遣は、これまでいただいた応援と支援の恩返しの一つです。被災地の人たちの思いを自分事として、支援をお願いします」と派遣される職員を激励しました。

今回派遣された職員は、25日から31日までの7日間、氷見市で現地の職員や先に派遣されている他市町村の職員と合流し、防災証明書や発行や建物被害の認定調査など、被災地の業務支援にあたりました。
派遣された野村さんは出発前に、「ふくしま災害時相互応援チームの一員として、被災された氷見市の皆さんが1日でも早く元の生活に戻れるよう、全力を尽くします」と決意を述べました。



▲引地真町長から訓示を受ける野村康宏さん（右）と高橋直也さん（中央右）

国見町は、千年以上育まれてきた国見の歴史・伝統・文化をこれから百年後に伝えていくため、これらを生かした「歴史まちづくり」を進めています。このコーナーでは町や地域が行っている取り組みについて、毎月お伝えしています。

【企画調整課地域振興係 ☎ 585-2967】
【あつかし歴史館 ☎ 585-4520】



Vol.80

阿津賀志山防塁関連遺構 阿津賀志山城砦群 柵形遺構

文治5（1189）年、阿津賀志山合戦の時、鎌倉軍が西側の山中から裏手に回り込むのを、阻止する目的で平泉軍が築いた城砦群が複数確認されています。今回、福島県北森林組合の調査班からの情報提供により、国見町大字石母田字二道路越付近に、城砦群と思われる平場となっている場所が発見されました。

そこで、現場に立ち会ったあつかし歴史館の笠松さんにお話を伺いました。



あつかし歴史館
笠松 金次さん

林道沿いの急坂を少し登ると、人工的に地面を削ったと思える平場と堀や土塁などで区画されている場所がありました。そこからは、桑折町から藤田方面に向かう東北自動車道や東北新幹線が眺望でき、合戦当時は見張り所として機能したと考えられます。

この場所は、方形になっていることから柵形遺構と言えます。土を積み上げて高低差を作ることで、内部の動きを隠しているようにも感じました。また、この遺構の下部には、阿津賀志山防塁始点地区の延長線上の陣場館跡があり、館跡に通じる横堀らしき地形もありました。そこは食料や水などの補給に使われた堀底道であったとも考えられます。

※林道整備のため、現在この場所は立ち入り禁止となっています。



▲今回確認した柵形遺構



▲あつかし山古戦場陣場館跡

歴史まちづくりインフォメーション

令和6年度 あつかし歴史館

「菊地利雄先生の研究・資料を楽しく読む会」～寄贈図書・研究資料活用歴史講座～

来年度もあつかし歴史館では、講座を開講しますので、ぜひご参加ください。

令和6年度スケジュール ※内容等について変更となる場合があります。

- 第1回 4月24・25日 「源頼朝と伊達朝宗娘大進局・だいしんのつぼね」
- 第2回 5月29・30日 「武蔵国武士団と奥羽地方」
- 第3回 6月26・27日 「伊達政宗・パートⅡ」
- 第4回 7月24・25日 「国見町の城館・東越山館など」
- 第5回 8月28・29日 「明治天皇東北巡幸と藤田村」
- 第6回 9月25・26日 「古代から中世の鳥取郷と村」
- 第7回 10月30・31日 「国見町誕生・大枝地区の分割」
- 第8回 11月27・28日 「戦国期伊達市の楽市・楽座」
- 第9回 12月25・26日 「陸蒸気と川蒸気—文明開化のシンボル—」
- 第10回 1月29・30日 「故郷を去った伊達氏家臣—石母田・桑折・飯坂氏—」
- 第11回 2月26・27日 「伊達氏の信夫郡北郷支配—伊達晴宗采地下賜録から—」
- 第12回 3月26・27日 「馬牛館と笹森小屋館」

【時間】

午前10時～午前11時30分

午後1時30分～午後3時

【場所・申込先】

あつかし歴史館

※事前予約制です

【連絡先】

☎ 585-4520

— Activity Report —

Vol. 42

地域おこし協力隊活動日記



玉村 優人
(Yuto Tamamura)

放課後塾スタッフの玉村です。

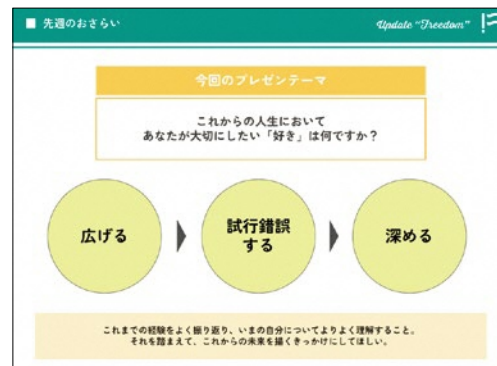
3学期の見晴るかすコースの様子についてお伝えします。

3学期のテーマは、「好き」をプレゼンすることです。1学期には、町民の方の「好き」を集めた冊子を作成し、2学期には国見町に関わる方の「好き」を表現するスキフェスを実施しました。

年間をととして、「好き」に対する考え方を広げてきた今、過去の自分を振り返り、正しく現在の自分を理解した上で、未来を想像する。彼らの好きなことや、それがどのようにして社会につながるのかを考え言語化する。その過程で、生徒たちの未来を見晴るかす取り組みを行っています！



3学期の授業の様子



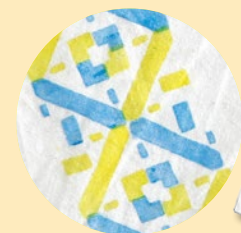
3学期のテーマ



紺野 翔



太田 裕菜



菊地 莉愛



佐藤 暖仁



県北中学校（1年生）「つながる模様の世界」

心なみオナミ

「大谷クラブ」で野球しようぜ！ 大谷翔平選手寄贈のクラブをお披露目

米大リーグの大谷翔平選手が寄贈したクラブが国見小学校に届き、1月9日の3学期始業式に合わせて児童たちに披露されました。佐藤政俊校長が「私たちの次の世代に夢を与え、勇気づけるためのシンボルとなることを望んでいます。野球しようぜ！」との大谷選手のメッセージを読み上げ、児童代表の渡辺陽さん（体育委員会委員長）、高橋蒼河さん（同委員会副委員長）にクラブを手渡しました。



クラブを受け取る渡辺陽さん（中央）と高橋蒼河さん（左）

交通遺児支援に役立てて 野村義悦さんが町に寄附

野村義悦さん（大町南）は1月10日、国見町役場を訪れ町に対して寄附をされました。

野村さんは、交通遺児育成に役立ててほしいとの目的で、平成24年から毎年町へ献身的に寄附をされています。引地真町長へ寄附金を手渡した野村さんは「なかなか手を差し伸べてもらえない子どもたちのため継続してきました。少しでも役に立てればと思います」と話しました。



引地真町長に寄附を手渡す野村義悦さん（右）

過疎地域の問題解決を目指して ふくしまベンチャーアワード 2023 受賞報告

県内の優れたベンチャー起業家をたたえる「ふくしまベンチャーアワード 2023」で最優秀賞を受賞した上神田健太さん（家守舎桃ノ音社長）が1月12日に役場を訪れ、引地真町長に受賞報告をしました。上神田さんは藤田駅前の街並みの再生に向け、複合施設アカリや環境性能の高いエコハウス8棟の整備を計画。過疎地域でも充実したライフスタイルを確立する計画を発表し、審査員から社会性や新規性が評価されました。



受賞報告に訪れた上神田健太さん

まちのたからものを火災から守る 「文化財防火デー」で消防団が放水訓練

1月26日の「文化財防火デー」に合わせ、国見町消防団（佐藤博之団長）は1月28日、町内5か所で消防訓練を行いました。今回の訓練は、文化財に指定された建物で火災が発生した場合を想定し放水訓練が行われました。

団員は日頃の訓練の成果を発揮し、正確で機敏な動きを披露しました。団員たちは火災発生時の備えを再確認するとともに、文化財を未来へ伝えていくための誓いを新たにしました。



秋葉神社（貝田）で放水訓練を行う消防団員の皆さん

災害時の備えに 郵便局長会から国見町へ災害用備品の寄贈

福島県北部地区郵便局長会（太田浩幸会長）が12月27日、災害用備品として、発電機1台と担架1台を町へ寄贈しました。寄付受納式に出席した太田会長は「地域で親しまれる郵便局を目指すとともに、多発する自然災害など有事の際に地域の皆さまのために活用していただきたい」と述べました。郵便局長会では、災害時の住民対応や地域社会への貢献のため、継続して公益事業を実施しています。



有事の際に有効に活用させていただきます

元気に長生きしてください 佐藤ハツさん 100歳のお祝い

100歳を迎えた佐藤ハツさんへの県知事賀寿と町敬老祝金の贈呈式が12月30日、佐藤さんの自宅で行われました。引地真町長が知事賀寿、敬老祝金、花束をそれぞれ手渡し、佐藤さんの100歳をご家族と一緒に祝いました。

佐藤さんに長寿の秘訣を伺うと「何でもよく食べ、よく話をする」と話してくださいました。いつまでもお元気でお過ごしください。



100歳を迎えた佐藤ハツさん

新年の飛躍発展を願う 叙勲祝賀会・新春賀詞交歓会

令和5年度叙勲祝賀会と新年恒例の新春賀詞交歓会が1月4日、みらいホール国見で行われました。祝賀会では、令和5年度の叙勲受章者へ、発起人を代表して引地真町長が記念品を贈呈しました。

続けて行われた賀詞交歓会には、町の各分野で活躍する約110人が出席。渡辺勝弘町商工会長の発声で乾杯が行われ、佐藤博之町消防団長の万歳三唱で交歓会が締めくくられました。



更なる飛躍発展を祈って万歳三唱

火災のない安心・安全な町を目指して 国見町消防団出初式

国見町消防団（佐藤博之団長）の出初式が1月7日、上野台運動公園で行われ、消防団員ら約160名が参加しました。出初式では、通常点検や機械器具点検などが行われ、団員は規律正しい動きで検閲を受けました。

佐藤団長は「町民の生命と財産を守るため、日頃から予防消防に取り組み、地域住民の信頼に応えられるよう尽力してください」と訓示を述べ、今年一年の無火災を誓いました。



引地真町長の検閲を受ける消防団員

国見町子育て世代包括支援センター

ももさぽインフォメーション



ニコニコ相談会

- 実施日** 令和6年4月17日(木)
- 時間** 午前10時～午前11時30分
- 会場** 子育て支援センター(藤田保育所内)
- 対象者** 国見町在住の妊婦
国見町在住の乳児及び保護者
- 持ち物** 母子健康手帳、子どもの飲み物
- 申込み** 前日までにほけん課保健係または
藤田保育所(☎585-2374)へ連絡

乳児健診

- 実施日** 令和6年4月25日(木)
- 受付時間** 午後1時15分～午後1時45分
- 会場** 観月台文化センター 第1和室
- 対象者** 3か月児(令和5年12月生まれ)
9か月児(令和5年6月生まれ)
- 持ち物** 母子健康手帳、オムツなど
- 内容** 医師の診察、身体測定、調乳、離乳、
予防接種などについて

救急車を呼ぶか迷ったら、まず相談！(福島県救急電話相談)

急な病気やけがをしたとき、救急車を呼んだ方がいいか、今すぐに病院に行った方がいいかなど、判断に困ったときは、福島県救急電話相談に相談してください。

■県内のプッシュ回線・携帯電話から ■ダイヤル回線・IP電話・PHSから ■受付時間
7119 **024-524-3020** **毎日・24時間対応**

※15歳未満の方の症状に関する相談は#8000または024-521-3790

院長先生の診察室から

【第27回】



公立藤田総合病院院長
近藤 祐一郎 先生

元日に発生した能登半島地震には驚きました。多くの国民が休みで、帰省している人も多かったと思います。翌日には、羽田空港で航空機事故が起きました。航空機の安全管理対策は医療安全のお手本とされるほど徹底されており、医療関係者にとって、この事故は大きな驚きでした。

東日本大震災と原発事故、2度の福島県沖地震を経験した私たちには、被災者の皆さんのつらい状況と気持ちが良く理解できます。能登地方の皆さんに、心よりお見舞いを申し上げますと共に、1日も早い復旧、復興をお祈りします。

自然災害は忘れた頃にやってきます。私たち一人ひとりが災害対策を今一度再確認し、準備をしておきたいと思います。

1月15日、公立藤田総合病院では、福島県では最初の日本医師会災害医療チーム(JMAT)を派遣しました。JMAT活動の詳細は、病院だより、当院ホームページで今後報告する予定です。

公立藤田総合病院は免震構造の新館、耐震構造の本館があり、東日本大震災でも大丈夫でした。さらに、自院で水源確保するための井戸掘削を行い、今年度中に使用可能の予定です。災害に強い病院として、各種対策を行っておりますのでご安心下さい。

寒さが厳しい季節が続きます。インフルエンザ、コロナ共に未だ収束しておりませんので、体調管理、感染対策には十分留意して下さい。

ほけんだより

— Health topics —

☎ほけん課 保健係 ☎585-2783

✉hoken@town.kunimi.fukushima.jp

女性のミカタ健康サポートコール

生涯を通じた女性の健康の保持増進を図ることを目的として、専用電話を設置し、相談を実施しています。女性のこころとからだの悩み(月経、妊娠、メンタル、更年期障害など)に保健師などが相談に応じます。

☎024-535-5615【相談無料】
(県北保健福祉事務所)
時間：(平日)午前9時から午後5時

いのちを救う 愛の献血にご協力を！

2月26日(月)は国見町の献血の日です

場 所	受付時間
国見町役場 駐車場	午前9時 から 正午
道の駅国見あつかりの郷	午後1時30分 から 午後4時

- ・1月、2月は「はたちの献血」キャンペーンを開催しています。
- ・10代から30代の若年層の献血者数はこの10年で減少傾向です。ぜひ、この機会に献血にご協力をお願いします。

初めての献血の方へ

- 副作用防止のため、献血当日は食事・睡眠(5時間以上)はお取りください。
- 服薬されている方は、薬の名前が分かるものをお持ちください。
(検診医師の判断でご遠慮いただく場合があります)
- 身分証(運転免許証)をお持ちください。



食育シリーズ



■町では食生活改善推進員の皆さんと栄養士が出向いて、くにみ幼稚園の子どもたちを対象に食育教室を開催しています。1月の食育内容を紹介します。



「旬の食材の食べ方」(年少児)



「正しい箸の持ち方について」(年中児)



「正しい箸の持ち方について」(年長児)



図書館へ行こう

■国見町図書館臨時閉館のお知らせ

蔵書点検のため 3月11日(月)から15日(金)まで閉館します。ご理解とご協力をお願いします。

※閉館期間中の本の返却は、観月台文化センター正面入口に設置の返却ボックスへ投函してください。

子ども司書講座「読み聞かせの仕方を覚えよう・おはなし会を組み立てよう」

1月21日、福島子どもの本を広める会・会長の瓶子美千子先生を講師に迎え、第7回子ども司書講座が行われました。始めに、幼少期から絵本に触れることの大切さや、読み方のポイント、選書の仕方についての講話がありました。

その後、閉講式でのおはなし会に向けて本を選書し役割分担を決め、練習に取り組みました。講師のアドバイスを受けながら練習を重ね、本番に向けて頑張る姿が見られました。



▲おはなし会の本番に向けて練習する参加者

子ども司書活動「閉講式でのおはなし会に向けて打合せ」



▲積極的に意見を出し合う参加者たち

第12回子ども司書活動では、閉講式でのおはなし会に向けての打合せを行いました。中学生の子ども司書が中心になり話し合い、テーマを「食べ物・スイーツ」に決め、プログラムを組み立てました。その後、テーマに沿った絵本を図書館から選び、話し合いを重ねながら選書しました。積極的に意見を出し合い、充実した活動になりました。

おはなし会

日時：2月24日(日) 午前10時から

場所：観月台文化センター 大研修室

どなたでも参加できますので、ぜひお越しください。

ホールに響く管弦楽のハーモニー 「仙台フィルハーモニー管弦楽団ニューイヤーコンサート」

1月20日、仙台フィルハーモニー管弦楽団ニューイヤーコンサートが観月台文化センターホールで開催されました。

松井慶太氏の指揮でグリーグの組曲「ホルベアの時代から」から始まり、モーツァルト、メルカダnte、レスピーギのクラシック演奏が行われました。

フルート奏者の戸田敦ソリストによる管弦楽との協奏や独奏もあり、美しいハーモニーがホール全体に響き渡りました。



▲美しいハーモニーがホールに響き渡りました



▲国見の民話大型かるたで遊ぶ参加者たち

国見っ子わんぱく広場

冬休み特別活動・サイエンスショー

12月23日、寿クラブと町社会福祉協議会の皆さんと一緒にクリスマスオーナメントと竹とんぼを制作し、国見の民話大型かるたで遊びました。

最後にクリスマスプレゼントが贈られると、子どもたちはとてもうれしそうに笑顔を見せました。

1月13日、ムシテックワールドから講師を迎え、サイエンスショーと工作を行いました。空気の実験では、高圧空気を利用したホバークラフトが浮上する様子が歓声が上がり、科学の不思議に興味津々でした。



▲練習の成果を発揮する受講生たち

くにみ観月台カレッジ

1年間の学習の成果を発表

くにみ観月台カレッジ学習発表会が1月26日、観月台文化センターホールをメイン会場に開催されました。7つのグループの多彩なステージ発表、ホールロビーでは4グループの作品展示と全体学習、16グループの活動紹介のパネル展示が行われました。会場には約200人が来場し、とても楽しく賑やかな発表会になりました。2月中旬までパネル展示を行っていますので、ぜひご覧ください。

▶Lifelong-Learning

生涯学習通信



国見町教育委員会生涯学習課（観月台文化センター）

☎ 585-2676 Fax585-2707

E-mail: shogai@town.kunimi.fukushima.jp

生涯学習課から工事のお知らせ

- ・観月台文化センターホール音響改修工事（2月末まで）
- ・観月台文化センター自動ドア改修工事（3月初旬まで）
- ・観月台文化センターホール客席照明改修工事（3月末まで）

※ご不便をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。



▲講師の指導を真剣に聞く参加者たち

こどもスキー教室

子どもたちが元気いっぱい雪原を滑走

1月13日、みやぎ蔵王白石スキー場で「こどもスキー教室」を開催しました。福島不忘スキークラブ所属の指導員4人を講師に迎え、小・中学生18人が参加しました。

子どもたちは楽しくスキーに取り組み、参加した全員がリフトを利用してコースを滑れるまで上達しました。



▲指揮者の橘直貴さんからサインをもらう参加者たち

少年仲間づくり教室

子どもたちがプロの生演奏に触れる

1月14日に実施した第9回活動では、ふくしん夢の音楽堂で「心ふれあい音楽鑑賞教室～ニューイヤーコンサート～」を鑑賞しました。参加した教室生15人は、オーケストラやパイプオルガンの美しい音色を体感しました。

お知らせ

西根堰土地改良区 農地異動届

伊達西根堰土地改良区の水利費賦課は、毎年4月1日現在の農地面積を基準に算定されます。令和6年度の水利用費賦課の基準となる農地面積などに変更がある場合は、届出をお願いします。

▼届出が必要な場合

- ・農地の売買などにより所有者が変わったとき
- ・地区除外をするとき
- ・経営移譲や死亡などで名義変更をしたとき
- ・農地の賃借があつたとき（水利費の支払い義務者を確認してください）

▼届出期限 3月22日(金)

▼届出・問い合わせ

伊達西根堰土地改良区
☎582-2319

国税専門官採用試験

仙台国税局では、バイタリティーあふれる国税専門官を募集しています。

国税専門官は、国の財政を支える重要な仕事を担い、税務署等において、調査・徴収・検査や指導などを行う税務のスペシャリストです。

▼受験資格

- ①平成6年4月2日から平成15年4月1日生まれの者
- ②平成15年4月2日以降生まれの者で次に掲げるもの
(1)大学（短大を除く）を卒業した者及び令和7年3月までに大学を卒業する見込みの者
- (2)人事院が(1)に掲げる者と同等の資格があると認める者

▼受験申込受付期間

2月22日(金)から3月25日(木)まで

▼受験申込方法

受験申し込みはインターネット申し込みとする。

国家公務員試験採用情報ナビ

(<https://www.jinji.go.jp/saiyo/saiyo.html>)

▼第1次試験日

5月26日(日)

伊達地方消防組合消防本部予防課

伊達地方消防組合消防本部予防課
☎575-0181

伊達地方 少年少女消防クラブ

消防署では、小学生の消防体験の場としてクラブを結成し活動しています。今般宝くじの社会貢献広報事業として実施しているコミュニティ助成事業を活用して、「活動服30着、防火服5着」を宝くじの助成金で整備しました。管内に居住する小学4年生から6年生を募集中です。詳しくは消防本部予防課へお問い合わせください。

伊達地方消防組合消防本部予防課

☎575-0181



伊達地方少年少女消防クラブの皆さん

戸籍証明書等の 広域交付開始

戸籍法の一部を改正する法律が令和6年3月1日から施行され、これまで本籍地市町村窓口でしか請求できなかった戸籍証明書等について、本籍地以外の市町村窓口でも請求できるようになります。

この改正によって転籍等により本籍地が複数あつた方や本籍地を管轄する市町村が遠くにある方でも、近くの市町村窓口で戸籍証明書等の請求ができます。

ただし、請求できる方は本人や配偶者等に限られ、代理人からの請求はできませんので注意が必要です。

伊達地方方法務局戸籍課
☎534-1933

自動車の登録(移転・変更・抹消)はお済みですか

自動車税種別割は、毎年4月1日午前0時現在で、車検証に記載されている「所有者」又は「使用者」に課

税されます。

「所有していない自動車の納税通知書が届いた」、「納税通知書が届かない」などのトラブルを避けるため、自動車を譲渡、廃車、又は所有者、使用者が転居した時は、3月31日までに最寄りの運輸支局等で手続きを済ませましょう。

【登録手続きについて】

国土交通省東北運輸局福島運輸支局
☎050-5540-2015

(登録・検査業務部門)
【自動車税種別割に関することについて】

伊達市東部地方振興局県税課課税第二課自動車税チーム
☎024-521-2702

介護福祉士養成科の 訓練生募集

テクノアカデミー郡山では、ハローワークに求職の申し込みをし、受講あつせんを受けられる方を対象として、国家資格「介護福祉士」の取得と介護福祉業界での正社員就職を目指すことを目的とした2年間の教育訓

練を委託により実施します。

▼募集コース 介護福祉士養成科

▼訓練期間 令和6年4月から令和8年3月(2年間)

▼訓練会場 県内の介護福祉士要請施設

▼受講料 受講料は無料 ※テキスト代や保険代等は、個人負担となります。

▼募集期間 1月11日(木)から2月29日(木)まで

▼選考日 3月11日(月)

▼その他 申し込み、選考内容については、問い合わせ先にてご確認ください。なお、新規学卒(受講申込時点で学校卒業後1年未満)で未就職者の方は応募対象になりません。

伊達市立テクノアカデミー郡山教務課委託訓練担当
☎024-944-1663

上級救命講習会を 開催します

「救命のバトンリレー」をSTARTしようをテーマに、普通救命講習内容のほか、骨折や外傷などをした場合の応急手当や搬送

国見の民話 かるた

【毛をそってぺろりとだます 古狐】

【第十回】
坊主にされた人



むかし、半田の近くでどぶ池に入つて「ありがたい、ありがたい」と拝んでいる人がいました。通りかかった人が「あんた、そんなところで何をしているんだい」と声をかけると、その人はびっくりして目を覚まして、狐に化かされたことに気づいたそうです。

その人が話すには、町で用を済ませ歩いていたら、目の前を狐がひよこひよこ歩いていました。「あの狐め、何をするつもりだ。化かされないように後をつけてやれ」と気づかれないように後をつけると、狐が突然ひっくり返つて、女の人の子どもをおぶつた姿に変身して、近くの家に入つていった。

驚いて後を追うと、その家の人たちが「娘が孫を連れて帰ってきた」と大喜びしていた。これはいけないと思い、今までのことを全部話すと、「せっか

里帰りしてきたのに、それを狐だなんて」と怒って本気にしない。そこで、「本当に狐ではないのか、生いぶしをしたら分かるのではないか」となつたので、土間に松葉を運んで、火を付けた。大変な煙が出るから、狐は苦しんでしつぱを出して逃げるだろう、と待ちかまえていると一向に正体を現すどころか、娘と孫が煙に巻かれて死んでしまった。

さあ大変だ、確かに狐のはずが目の前で死なれてしまったと、青ざめてしまった。「狐だなんて嘘をついて、娘と孫が死んでしまった」と責められていたら、お坊さまが通りかかって「二度と人前に出られぬよう、坊主にしてやる」と頭の毛を刈ってしまった。人を殺してしまったのに、命も取られず、お坊さまに助けをいただいて。ありがたくて、一生懸命に念仏を唱えて拝んでいたのに「いつの間にか狐に化かされていたのか。こんな汚いところにいたなんて」と悔しそうに話したそうです。

狐に化かされた話は、昔話のひとつとして子どもたちによく話されていたようです。

広告掲載

2 くにみカレンダー

2/9	金	・広報くにみ 2 月号発行 ・いきいきサロン第 8・9（午後 1 時 30 分～）
10	土	
11	日	・建国記念の日
12	月	・振替休日
13	火	
14	水	・いきいきサロン第 3（午後 1 時 30 分～） ・イキイキ子育てクラブ
15	木	・いきいきサロン第 2（午後 1 時 30 分～） ・戸籍係窓口延長（午後 7 時まで） ・子ども移動図書館（1 年生）
16	金	・いきいきサロン大木戸（午後 1 時 30 分～）
17	土	・国見っ子わんぱく広場「閉所式・思い出すごろく」 ・子ども司書活動「おはなし会練習」
18	日	
19	月	・いきいきサロン泉田下（午後 1 時 30 分～） ・教育委員会定例会（午後 5 時 15 分～・観月台文化センター）
20	火	・いきいきサロン山根（午前 10 時～） 徳北・第 7（午後 1 時 30 分～）
21	水	・いきいきサロン第 1（午後 1 時 30 分～） ・ニコニコ相談会
22	木	・いきいきサロン泉田中（午前 10 時～） 光明寺（午後 1 時 30 分～） ・心配ごと相談（午前 9 時～正午） ・3・9 か月児健診 ・戸籍係窓口延長（午後 7 時まで） ・ブックスタート
23	金	・天皇誕生日
24	土	・子ども司書講座・活動「おはなし会・閉講式」
25	日	・結婚世話やき人月例相談会（午後 1 時～午後 3 時） ・マイナナンバーカード休日臨時窓口（事前予約制） ・パパママカフェ
26	月	・いきいきサロン板橋（午前 10 時～） 高城（午後 1 時 30 分～）
27	火	・いきいきサロン石母田（午後 1 時 30 分～）
28	水	・いきいきサロン貝田（午後 1 時 30 分～） ・いきいきサロン源宗山（午前 10 時～） 大枝（午後 1 時 30 分～）
29	木	・戸籍係窓口延長（午後 7 時まで） ・観月台カレッジ全体学習「閉講式・記念講演」
3/1	金	・いきいきサロン第 4（午後 1 時 30 分～）
2	土	
3	日	・宝くじ文化公演「相川七瀬コンサート」
4	月	・いきいきサロン川内（午後 1 時 30 分～） ・観月台文化センター休館日
5	火	・いきいきサロン内谷・鳥取（午後 1 時 30 分～）
6	水	・いきいきサロン太田川（午後 1 時 30 分～） ・子ども移動図書館（2 年生・創作活動）
7	木	・いきいきサロン塚野目（午後 1 時 30 分～） ・1 歳 6 か月児健診 ・戸籍係窓口延長（午後 7 時まで） ・子ども移動図書館（1 年生・創作活動）
8	金	・いきいきサロン第 8・9（午後 1 時 30 分～）
9	土	
10	日	
11	月	・国見町図書館臨時閉館（蔵書点検～ 15 日まで）

3月の休日当番医（診療時間：午前 9 時～午後 5 時）

当番日	医療機関名	電話番号
3 日 日	遠藤内科医院 （伊達郡桑折町陣屋 1-6）	☎ 582-6788
10 日 日	大木内科医院 （伊達市保原町本町 4）	☎ 575-3343
17 日 日	（医）大山クリニック （伊達市北後 13-1）	☎ 583-2136
20 日 祝	（医）掛田中央内科 （伊達市霊山町掛田字西裏 49-1）	☎ 586-1315
	だて耳鼻科パオパオ （伊達市梨子木町 27-1）	☎ 583-4178
24 日 日	（医）かしの木内科クリニック （伊達市岡前 20-6）	☎ 551-1411
31 日 日	（医）神岡クリニック （伊達市霊山町掛田中）	☎ 586-1318
	（医）伊藤皮フ科クリニック （伊達市岡前 20-1）	☎ 551-1121

【休日救急歯科診療】（日・祝）
受付時間：午前 9 時から午後 4 時 30 分まで
場所：福島市保健福祉センター（福島市森合町 10 番 1 号）
※当番医が変更になる場合や診療していない科もあります
ので、事前に電話で確認のうえ、受診してください。

戸籍の窓口

12 月 21 日～1 月 20 日受付分

【当町窓口で受付した方で、町内に住所を有する方を掲載しています】

● 結 婚 お め で と う ●

渡邊 翔 さん （ 第 3 ）
今野 芳美さん

● おくやみ申し上げます ●

佐藤 良一さん	95	（ 小 坂 ）
渋谷キエコさん	98	（ 光 明 寺 ）
古内 イセさん	79	（ 内 谷 東 ）
佐久間ナヨ子さん	86	（ 本 町 ）
山田志佐美さん	62	（山崎宮館）
目黒としこさん	92	（ 宮 東 ）
吉田 邦彦さん	69	（ 第 1 ）
小坂 精一さん	88	（ 太 田 川 ）
佐久間正男さん	87	（ 第 1 ）
佐久間友義さん	70	（ 小 林 ）
八島昭次郎さん	96	（国見の里）
松浦スベコさん	92	（国見の里）
菊地 忠芳さん	80	（石母田原）
井砂 浩一さん	90	（ 北 部 ）

掲載を希望されない方は、届出の際にお申し出ください。

人口と世帯

令和 5 年 12 月 31 日現在

※住民基本台帳人口（前月比）

人口	8,203（－16）	転入	6（－9）
男	3,957（－7）	転出	11（＋1）
女	4,246（－9）	出生	1（±0）
世帯	3,373（±0）	死亡	12（－7）

まちの情報ボックス

国見町に暮らし、働くみなさんの奨学金返還を支援します！

- 最大 15 年間・360 万円まで補助
- 期間中に返還した奨学金の月額 2 万円（年額 24 万円）を限度
※補助金の交付申請する年度の 10 月 1 日から起算した 1 年間



対象者

下記①から③のすべてを満たす方

- ①大学、大学院、短期大学などを卒業した（または令和 5 年度卒業予定の）満 30 歳未満の方
- ②国見町に継続して 10 年以上定住する意思のある方
- ③1 週間の所定労働時間が 20 時間以上の方、自営業の方（ただし、国家公務員又は地方公務員を除く）

※対象者として事前に認定を受ける必要があります。詳しくは、募集要項（町ホームページ）をご覧ください。

対象奨学金

- ①国見町奨学金
- ②日本学生支援機構 第一種・第二種奨学金
- ③国または地方公共団体の奨学金
- ④大学等独自の奨学金

※申請者本人が貸付を受けた奨学金が対象です。

申請期限

令和 6 年 3 月 29 日 金



詳しくは町ホームページへ→

国見町教育委員会教育総務課 ☎ 585-2892

今月の納期限は 2 月 29 日 日

町税等の納付は『口座振替』が便利です

国民健康保険税（普通徴収）【第 8 期】
後期高齢者医療保険料（普通徴収）【第 7 期】
☎ ほけん課国保係 ☎ 585-2785

介護保険料（普通徴収）【第 8 期】
☎ 福祉課長寿介護係 ☎ 585-2125

- ・振替口座の預貯金残高を前日までに確認してください。
- ・コンビニエンスストアやスマートフォン決済アプリからの納付も可能です。
- ・QR コードが印刷されている納付書は「地方税お支払サイト」から電子納付が可能です。詳しくは町 HP をご確認ください。

町税等を滞納すると、延滞金が発生したり予告なく関係機関に調査が行われて滞納処分（財産差押）されたりしますので、納め忘れに注意しましょう。

町営住宅・定住促進住宅の 空室状況をお知らせします （令和 6 年 1 月末）

定住促進 住宅	1 部屋	滝山団地	5 部屋
子育て住宅	空室なし	板橋南団地	空室なし

建設課管理係 ☎ 585-2972

『広報くにみ』に掲載した
写真を希望する方は
総務課秘書広報係
（☎ 585-2113）まで
ご連絡ください。



広告掲載



夢に向かって

責任感のある強い大人になりたい——

渡邊 ^{ももか} 桃花さん（県北中3年）

第22回

私の将来の夢は、医療系の仕事に就くことです。”これ”といった仕事が決まっているわけではありませんが、人を助けることができる仕事がしたいと思っています。

コロナ禍のとき、医療従事者の方たちが、患者さんや困っている人のために全力を尽くす姿をニュースなどで見て憧れを持ちました。私もこんな仕事をしてみたいと思うようになりました。

今はとにかく、高校入試に向けて受験勉強を頑張っています。進学してたくさんの知識を身に付けないと、夢

を叶えることはできないと思います。理系の勉強が苦手で、特に数学は集中して学習に取り組んでいます。高校に入学しても、大学進学などの将来のために勉強を頑張りたいと思っています。美術部では部長を務めていましたが、始めは部員に指示を出すことが苦手で苦労しました。部長の役割にも徐々に慣れてきて、自分に自信を持つことができました。絵を描くことが好きなので、高校でも美術部に入部してみたいです。

大人になったら、責任感のある人になりたいです。そして、何事も自分でしっかり考えて行動し、自分の人生は自分で作り上げていきたいと思っています。



町長コラム

ま 真 こらむ

【第31回】

国見の真心と恩返し

緊急地震警報が鳴る。穏やかな元日が一変。日を迫うごとに悲しみが増すニュース映像は、能登の人たちへの思いを募らせる。

思い出す。そして想像する。東日本大震災と原発事故、水害、2度の大きな地震。着の身着のまま避難所に向かう。高齢の親を気遣い、避難所に入らず一緒に車中泊する。水も電気も食料もないまま氷点下の夜を過ごす。人手と水、医薬品が足りない病院。余震と寒さに震える心と体…。私たちの「あのとき」がよみがえる。

少しでも力になりたいと国見町が備蓄してるシート、アルファ化米、お粥、防災ゼリー、水の提供を石川県に、町職員派遣を福島県に申し出る。「義援物資が殺到。調整に時間が必要。改めて連絡します」と石川県。「国見町職員2人は、25日から31日まで富山県氷見市へ派遣をお願いします」と福島県。

公立藤田総合病院では、医師、看護師2人、薬剤師を15日から19日まで石川県七尾市の公立能登総合病院へ派遣。福島県内の病院では初。国見町が譲与した高規格救急自動車に、目一杯の薬剤、医療器材を積んで向かう。

令和3年、4年の地震で全壊、半壊世帯に800万円を超す義援金をいただいている国見町は、義援金の受け付けも始める。たくさんの人から寄せられて。小学生と中学生も自発的に義援活動をする。応援の寄せ書きと一緒に。

被災のたびに私たちが勇気づけられたことを多くの人がしてる。恩返ししてる。国見の優しさにほっこりする。私たちがそうだったように「いつまで続くの?」と不安が尽きない能登の人たちに、国見の心を寄せてる。



▲全国から支援に駆け付けた派遣職員の皆さん（氷見市）

引 地 真